

上手な医療のかかり方を広めるための懇談会
上手に医療にかかるための5つのポイント(案)

○病気やけがはまず#8000(子ども)や#7119(救急)へ電話を。

夜間や休日にお子さんの急な病気やけがで心配になったら、子ども医療電話相談(#8000)へ電話してください。救急受診が必要かどうかは、救急安心センター(#7119)で適切なアドバイスを受けられます。

○医師と話すときは、自分の聞きたいことを紙に書きだして整理し、ためらわないで聞きましょう。

医師に全てを任せるのではなく、わからないことがあれば遠慮せず聞きましょう。医師は問題解決のために一緒に考えるパートナーです。

○薬のことで質問があればまず薬剤師に相談しましょう。

忙しい医師に聞きにくいことでも、日頃の体調管理は看護師に、薬のことは薬剤師に聞くなど、それぞれの専門職の役割を知り、チーム医療のサポートを上手に受けましょう。

○抗生物質は風邪には効きません。

薬には副作用があり、本当に必要なときに飲むものです。風邪で抗生物質をもらいに医療機関に行くことは控えましょう。薬は、沢山飲んだり不適切な使い方をすると副作用も起きやすくなります。

○慢性の症状(数週間以上前からの同じ程度の症状)であれば日中にかかりつけ医を受診しましょ
う。

診療時間外の夜間や休日に受診しても、緊急性の高い疾患でなければ、短い診察時間で、1日分のお薬しかもらえませんし、全ての診療科の専門医がいるわけでもありません。自己負担も高くなります。